

ワクチン接種 なお時期見えず

アストラゼネカ、自栓症で審査影響も

新型コロナウイルスのワクチンについて、菅義偉首相が米ファイザーとの間で追加供給を受けることと合意した。背景には、国内で承認審査中の英アストラゼネカのワクチンを使える時期が不透明になってしまったことがある。だが、接種時期などは依然はっきりしないままだ。

「9月までに供給される」という約束が立った。首相は、訪問中に行った米製薬大手ファイザーのブーラ最高経営責任者(CEO)との電話協議を記者団に問われ、そう説明した。海外に比べ接種が遅れる中、アストラゼネカとモデルナのワクチンは順調に行けば、5月中の承認も期待されていた。だが、アストラゼネカのワクチンに接種され、接種後30分以内に出る

種後の血栓症が報告され、状況が変わった。承認審査に遅れが出る可能性は否定できず、厚生労働省のある幹部は「審査しなければならない項目は増えるだろう」。血栓症に関する追加データの提出を同

じことが多く、会場内で症状を確認しやすい。一方、血栓症はすぐに分からず、会場を離れた後だと、対応は難しい。別の幹部は「接種後のフォロー態勢も改めて検討する必要が生じるかも知れない」と指摘する。

「接種するワクチンを選べない」という要望が国民

の間で強まる可能性もある。複数の政府関係者によると、首相の言う「スムーズ」には、ファイザーに加え、アストラゼネカとモデルナのワクチンも想定されている。しかし、全体的な接種スケジュールの見直しは示されていないからだ。

自民党の下村博文政調会長は19日、接種にあたる医療関係者の人手不足を挙げ、「65歳以上の方に限定して、自体によっては

来年までかかるかも知れない」と述べた。

一方、追加供給の量につ

(市野晃、坂本純也)

として、政府は同社からの了

解を得ていないことを理由

に、明らかにしていない。

首相が話す「供給」と、実

際には接種できるスケ

ジュールとの関係も、はつきりしない。

全体的な接種

スケジュールの見直しは示

されていないからだ。

自民党の下村博文政調会

会長は19日、接種にあたる医

療関係者の人手不足を挙げ、「65歳以上の方に限定

して、自体によっては

来年までかかるかも知れない」と述べた。

一方、尾身茂会長は、

「これまでのところは、

東京でも変異株の検出が増えて

いる。「何をすれば変異株が

分な人もみられる。そうした人た

ちも協力してやれるような状況、

環境をつくる」が必要ではない

か」と述べた。

東京でも変異株の検出が増えて

いる。「何をすれば変異株が

分な人もみられる。そうした人た

ちも協力してやれるような状況、

環境をつくる」が必要ではない

か」と述べた。

一方、尾身氏は、「政策を

実行が求められている。人々はリ

ーダーを見ている。リーダーは、

リスクと責任をとる必要がある」と説明した。

7月から開催予定の東京五輪

も開催を不安視する声が上がる。

尾身氏は「判断する立場がない」

といつて、「一般医療に負担がか

つ大きな要因だったと思つ」と尾

身氏は指摘した。

大阪は緊急事態宣言の要請に動

いたり、「ワクチン接種の

「よく珍しい」と話す。

欧州の規制当局は、「

「よく珍しい」と話す。

大阪は緊急事態宣言の要請に動

いたり、「ワクチン接種の

「よく珍しい」と話す。

大阪は緊急事態宣言の要請に動いたり、「ワクチン接種の」「よく珍しい」と話す。

大阪は緊急事態